

# 平成 27 年度事業報告書及び事業報告の附属明細書

## (1) 事業体系

公益財団法人福岡よかトピア国際交流財団は、アジア太平洋博覧会-福岡'89の成功を記念するとともに、市民一人ひとりが多様性を認め合いながら国際的な相互理解を深める多文化共生社会の実現に寄与し、もって、地域の発展と国際平和に貢献するという当財団の目的に向けて、下記の4つの柱に基づき各種事業を実施した。

### ① アジア太平洋博覧会-福岡'89を記念する事業

アジア太平洋博覧会-福岡'89を記念する事業として、福岡アジア文化賞の共催及びアジア太平洋子ども会議への助成を行う。

### ② 市民の国際交流を促進する事業

市民の国際理解・国際協力への意識の高揚を図り、国際交流を推進するため、ボランティア交流推進、語学等を通じた国際理解、国際交流団体のネットワーク推進等を行う。

### ③ 在住外国人及び外国人学生を支援する事業

外国人にも住みやすく活動しやすいまちにするため、「レインボープラザ」で、窓口相談や各種情報提供、外国人向けの専門家による相談を実施するほか、日本での日常生活に必要なルール、防災知識等を普及する。

また、福岡都市圏で学ぶ外国人学生が安心して勉学に励むことができるように、資金の貸付や福岡学生交流会館の管理運営、外国人学生支援を行う。

### ④ グローバル人材を育成する事業

国際社会で活躍できるグローバル人材を育成するため、奨学金の支給や留学生と企業との交流サロン、青少年相互派遣等を行う。

## (2) 事業報告

### ① アジア太平洋博覧会-福岡'89を記念する事業

#### ア 福岡アジア文化賞

アジア地域の学術研究者と芸術文化の育成・発展に顕著な業績をあげた個人または団体に対し、その功績を顕彰した。

(ア) 主 催 福岡市・(公財)福岡よかトピア国際交流財団

運営母体 福岡アジア文化賞委員会

(イ) 事務局 福岡市総務企画局国際部内

(ウ) 受賞者 大賞、学術研究賞、芸術・文化賞 各1名

(エ) 市民フォーラム 各受賞者1回 計3回(9/19、9/20)

(オ) 学校訪問 大賞受賞者 2校(高等学校、大学 9/18)

学術研究賞受賞者 1校(中学校 9/19)

芸術・文化賞受賞者 1校(専門学校 9/18)

(カ) 国際交流基金アジアセンターとの共催企画

大賞受賞者 特別対談(9/19)

芸術・文化賞受賞者 ファッションショー(9/19)

歴代受賞者招へい企画 (1/30)

#### イ 「アジア太平洋子ども会議・イン福岡」助成

アジア太平洋各地の子どもたちとの異文化交流による国際理解を推進するため、「アジア太平洋子ども会議・イン福岡」事業へ助成を行った。

(ア) 主 催 NPOアジア太平洋子ども会議・イン福岡

(イ) 事業内容 派遣(14か国, 243名) 招聘(41か国, 283名)

## ② 市民の国際交流を促進する事業

### ア 国際交流活動助成

福岡市民の国際交流を支援し、福岡市の国際化を推進するため民間団体の国際交流事業等に対して助成を行った。

#### (ア) 国際交流活動助成

##### a 助成の金額及び対象となる経費

【一般型】 助成対象経費の5割以内で、1件30万円以内

【チャレンジ応援型】 助成対象経費の8割以内で、1件10万円以内

##### b 募集期間 毎年1月及び7月

##### c 助成件数 6団体(一般5件 チャレンジ1件)

##### d 助成額 1,149,735円

#### (イ) 国際交流活動人材育成費助成

##### a 助成の金額及び対象となる経費

1団体あたり1年度の助成額は2万円まで

対象団体の運営従事者が、当該団体の発展または目的達成のために必要とする講座・セミナー・研修会等を受講する場合の受講費用・学費、教材費、交通費、宿泊費等

##### b 申請時期 受講する講座等開催日の1月前まで

### イ ボランティア交流推進

国際交流ボランティア活動を促進し、市民の国際理解や国際感覚を涵養した。

#### (ア) ホームステイ・ホームビジット

外国人が日本の家庭に滞在・訪問することを通して、お互いの文化を理解し交流を深める機会を提供する「一般交流」と、外国人学生と市民が家族ぐるみの交流を行う「学生交流」により相互理解と友好親善を図るために、ホストファミリーを登録し、依頼に応じて紹介した。

##### a 登録家庭数 52家庭

##### b 利用者数 38名(11か国・地域)

#### (イ) 語学ボランティアの紹介

国際交流の推進と外国人支援のため、語学を生かして通訳や翻訳等のボランティアを行う市民を登録し、依頼に応じて非営利の活動や地域事業に派遣した。

##### a 登録者数 実数99名 延べ117名(複数言語での登録者計)

##### b 登録言語数 15言語

##### c 延べ活動者数 106名

#### (ウ) 国際交流ボランティア研修

語学ボランティア、ホストファミリーとして登録し活動を行っている国際交流ボランティアに対して、福岡の文化・歴史、国際交流事業、異文化理解、外国人支援等、ボランティア活動に必要な知識や情報を提供するため、研修会を実施した。

##### 第1回 a 日時 平成27年9月27日

##### b 会場 福岡よかトピア国際交流財団 大会議室 他

##### c 内容 出前講座「ウォーターフロントネスト：中央ふ頭・博多ふ頭の再整備」 街歩き「天神-博多ふ頭ウォーキング」

##### d 参加者 17名

##### 第2回 a 日時 平成27年11月15日

##### b 会場 福岡よかトピア国際交流財団 大会議室 他

##### c 内容 出前講座「福岡フィルムコミッション：映画・ドラマで夢が広がる」 街歩き「天神-中洲-呉服町ウォーキング(天神周辺ロケ地訪問)」

##### d 参加者 12名

## ウ 語学等を通じた国際理解

### (ア) 留学生から学ぶ外国語教室

市民の国際交流の推進にあたり、留学生を講師として、交流の有効な手段の一つである「言葉」の習得を手助けする教室を開催した。これにより、様々な言語で日常会話ができる程度の語学力を持つ人材を育て、かつ言葉の学習を通じて国際理解・国際交流を深める機会を提供した。

- a 共 催 福岡市
- b 内 容 中国語、韓国語、ベトナム語、ロシア語等 17 言語、29 講座を実施
- c 定 員 各クラス 20 名
- d 講 師 福岡都市圏の大学・短大に在籍する、または福岡市内に在住の留学生
- e 受講者数 545 名

### (イ) フランス語講座

福岡市の姉妹都市であるフランス・ボルドー市との交流を促進するため、アンスティチュ・フランセ九州と共催でフランス語講座を行い、フランス語を習得する機会を市民に提供した。

- a 主 催 アンスティチュ・フランセ九州
- 共 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団
- b 事務局 アンスティチュ・フランセ九州内
- c 実施時期 年 4 回(春、夏、秋、冬) 各 3 か月
- d 講座数 412 講座
- e 受講者 2,429 名

### (ウ) 韓国語弁論大会

韓国文化への理解や日本と韓国の相互交流を深めるため、福岡韓国語弁論大会実行委員会と共催で、福岡都市圏で韓国語を学習する市民を対象に弁論大会を開催した。

- a 主 催 福岡韓国語弁論大会実行委員会
- 構成団体 福岡観光公社福岡支店、日韓交流博多会、福岡韓国総合教育院、福岡県日韓親善協会
- 共 催 福岡市、(公財)福岡よかトピア国際交流財団
- b 事務局 福岡県日韓親善協会内
- c 実施時期 平成 27 年 11 月 29 日
- d 会 場 福岡市市民福祉プラザ
- e 出場者 7 名
- f 聴講者 110 名

### (エ) 外国人による日本語スピーチコンテスト

外国人に日本語を学ぶことを奨励するとともに、日本人と外国人の相互交流・相互理解の場を提供するため、日本語スピーチコンテスト実行委員会と共催で、コンテストを開催した。

- a 主 催 日本語スピーチコンテスト実行委員会
- 構成団体 日本語学校及び日本語教室 22 団体
- 共 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団、福岡市福岡外国人学生支援の会
- b 事務局 (公財)福岡よかトピア国際交流財団内
- c 実施日 平成 27 年 10 月 18 日
- d 会 場 福岡市市民福祉プラザ
- e 出場者 19 名
- f 聴講者 254 名

## (オ) 国際理解教育講師派遣

青少年の国際理解の推進・国際力の育成を目的として、福岡県内の小・中学校等へ留学生等を講師として派遣した。

- a 主 催 福岡国際理解教育講師派遣事業協議会  
構成団体 (公財)福岡よかトピア国際交流財団、(公財)福岡県国際交流センター、  
(公財)北九州国際交流協会
- b 事務局 (公財)福岡県国際交流センター内
- c 実施時期 平成 27 年 7 月～平成 28 年 2 月
- d 派遣人数 延べ 16 校へ 25 名(福岡市内)

## エ 国際交流団体のネットワーク推進等

### (ア) 地球市民どんたく

市民の国際協力・交流に対する理解と支援を得るとともに、福岡を拠点に国際協力・交流を行うNGO等のネットワーク形成を図ることを目的として、団体の活動紹介ブースの設置やワークショップ等を行った。

- a 主 催 地球市民どんたく実行委員会  
構成団体 参加団体(15 団体)  
共 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団、福岡市  
独立行政法人国際協力機構九州国際センター(JICA 九州)
- b 事務局 (公財)福岡よかトピア国際交流財団内
- c 実施時期 平成 27 年 11 月 14 日～15 日
- d 会 場 アクロス福岡 交流ギャラリー
- e 来 場 者 374 名

### (イ) 福岡国際関係団体連絡会(FUKU-NET)

福岡都市圏の国際交流・協力を行う様々な団体のネットワーク組織で、各団体間の連携を図り、地域の国際化の推進に寄与することを目的として、総会・連絡会などを開催した。

- a 主 催 福岡国際関係団体連絡会  
構成団体 (公財)福岡よかトピア国際交流財団等 75 団体
- b 事務局 (公財)福岡よかトピア国際交流財団内
- c 実施時期 総 会 4 月(通常)、12 月(臨時)  
連絡会 4 月、6 月、8 月、10 月、12 月、2 月
- d 参加人数 187 名(会員参加 160 名 一般参加 27 名)

## オ 国際交流推進

姉妹財団である釜山国際交流財団と連携し、同財団が主催するグローバルギャザリング 2015 (10 月 17 日)に参加した。また、国際交流推進の参考とするために、諸外国、姉妹・友好都市等の情報収集などを行った。

## カ 「福岡市姉妹都市締結周年事業」助成

姉妹都市締結 10 周年を迎えるアトランタ市と福岡市との訪問団の相互派遣や文化交流等の記念事業に対し、助成を行った。

- (ア) 主 催 福岡市姉妹都市委員会  
構成団体 福岡市、福岡よかトピア国際交流財団等 50 団体
- (イ) 事務局 福岡市総務企画局国際部内
- (ウ) 実施時期  
・アトランタ市訪問団受入  
平成 27 年 7 月 8 日～11 日 (首席補佐官ほか 6 名)

- ・ジャパンフェスト・アトランタ 2015 出展  
平成 27 年 9 月 19 日～20 日  
博多独楽によるステージパフォーマンス  
博多人形師による博多人形の絵付体験
- ・福岡市訪問団派遣  
平成 27 年 11 月 15 日～20 日（市長ほか 8 名）

### ③ 在住外国人及び外国人学生を支援する事業

#### ア 一般相談・情報提供

レインボープラザにおいて、国際交流・国際理解・国際協力に関する資料収集・情報提供ならびに外国人への生活情報の提供・相談などを実施。また、ホームページ上においても随時、情報を発信した。

- (ア) 英語、中国語、韓国語、日本語対応による窓口相談
  - a 来場者数 66,788 名（うち外国人：21,631 名）
  - b 窓口相談数 14,474 件（うち外国人：4,698 件）
- (イ) 外国語報道番組(NHK-BS1)のTV放映、無料インターネットの利用提供
  - a インターネット利用者数 1,904 名
- (ウ) 図書、新聞、パンフレット等の資料収集・提供
  - a 図書貸出数 855 冊
- (エ) 外国語情報紙(英・中・韓)の発行
  - a 英語版 5,000 部/隔月、中国語・韓国語版 各 2,200 部/隔月
- (オ) ホームページ及びメールマガジンによる情報提供
  - a メールマガジン登録者数 1,755 名
- (カ) 区役所窓口での通訳支援(出張レインボープラザ)
  - a 内容 外国人留学生等の転入届、国民健康保険等の手続き補助
  - b 派遣先 西区役所西部出張所
  - c 派遣時期(人数) ・平成 27 年 9 月 24 日～30 日 5 日間 (延べ 17 名)  
・平成 28 年 3 月 23 日～31 日 6 日間 (延べ 10 名)

#### イ 外国人専門相談

レインボープラザにおいて、在住外国人の生活上の諸問題について、専門家による無料相談会を実施した。

- (ア) 外国人法律相談
 

法的慣習や文化の違いから、紛争解決に関して一般的に弱い立場に置かれがちな外国人に対し、福岡県弁護士会と共催で法律的な助言、情報提供を行い、必要に応じて通訳を手配した。予約制で月 2 回(第 1・3 土曜日)に開催した。

  - a 実施回数 22 回
  - b 相談者数 45 名(16 か国)
- (イ) 外国人のための入国・在留・国籍に関する相談
 

外国人の在住のために不可欠な在留資格や住民登録等の行政手続に関し、福岡県行政書士会と共催で正確な情報と助言を提供した。英語と中国語の通訳が常駐し、その他言語は必要に応じて手配をするが、H26 年度は実績がなかった。月 1 回(第 2 日曜日)に開催した。

  - a 実施回数 12 回
  - b 相談者数 101 名(18 か国・地域)
- (ウ) 外国人心理カウンセリング
 

言葉の問題や生活環境の違いなどから精神的問題を抱える外国人を対象に、問題の解決に向けた心理カウンセリングを、臨床心理士が日本語または英語で行った。予約制で、週 3 回(月・木・土曜日)に開催した。

- a 実施回数 延べ 333 回
- b 相談者数 43 名 (10 か国)

(エ) 外国人健康相談

健康上の問題を抱えている外国人のために、健康相談をボランティア医師の協力により、医学的な助言、指導を日本語または英語で毎週水曜日に開催した。

- a 実施回数 52 回
- b 相談者数 延べ 27 名 (12 か国)

(オ) 福岡在住外国人支援関連機関連絡協議会運営

外国人の生活に密接に関係する機関相互の連携・情報共有を図り、外国人をめぐる諸問題の解決を促進するため、福岡在住外国人支援関連機関連絡協議会を開催した。構成団体は、保健福祉、医療、教育、女性、法律関係等 16 機関(財団が事務局を担当)。

第 1 回 a 日 時 平成 27 年 8 月 24 日

b 会 場 福岡よかトピア国際交流財団大会議室

c テーマ

- ・「福岡市の外国人向け医療環境整備」
  - ・「福岡市の外国籍等児童生徒への日本語サポートについて」
- 福岡市保健福祉局医療事業課、福岡アジア医療サポートセンター  
福岡市教育委員会学校指導課からの概要説明及び参加団体の意見交換

d 出席者 10 団体 10 名

第 2 回 a 日 時 平成 28 年 2 月 29 日

b 会 場 福岡よかトピア国際交流財団大会議室

c テーマ

- ・「福岡市スタートアップカフェの 1 年と今後の展望」
- 福岡市スタートアップカフェ、福岡市経済観光文化局創業・大学連携課からの概要説明及び参加団体の意見交換

d 出席者 10 団体 12 名

## ウ 外国人向け広報ラジオ番組

外国人に対して、財団が行う事業やレインボープラザの PR を、福岡の外国語放送ラジオ局であるラブエフエムを通じて、英語・中国語・韓国語の 3 カ国語で広報した。

(ア) レインボープラザ・インフォメーション(3分番組)

財団が行うイベント情報や生活情報等を、毎月第 2、第 4 週の月、火、水、土、日曜日に放送した。

放送回数 120 回

(イ) スポット CM(20 秒番組)

レインボープラザのサービスの紹介を、春秋(4、9、10、3 月)に集中的に放送した。

放送回数 115 回

## エ 在住外国人のための日常生活アドバイス

福岡での在住外国人の快適な生活を可能にするとともに、日本人市民と外国人市民双方の暮らしの安心感を高めるため、新たに福岡に来た外国人を対象とした自転車と交通ルール、ごみ出しルール、防犯に関する出前講座を行った。また、在住外国人市民等を対象とした防犯教室(護身術体験)を行った他、DVD、インターネット動画による日本での生活に必要なルール、暮らしのヒントや防災知識の普及を行った。

(ア) 出前講座

- a 実施主体 (公財)福岡よかトピア国際交流財団、  
福岡市(市民局、環境局、各区役所)、福岡県警察

- b 実施件数 29 件
- c 受講者数 1,693 名
- (イ) 防犯教室
  - a 主 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団
  - b 共 催 福岡外国人学生支援の会
  - c 実 施 日 平成 28 年 2 月 24 日
  - d 会 場 福岡県中央警察署武道場
  - e 参加者数 29 名

#### オ 留学生資金貸付

福岡都市圏で学ぶ留学生が、生活費、住宅費、医療費、学費、一時帰国費等で、一時的、臨時的に多額の出費が必要な場合に資金の貸付を行うことにより、安定した勉学ができるよう支援する制度。近年利用者が減少しているため、本制度は平成 27 年度をもって廃止した。

- (ア) 貸付限度額 200,000 円(原資 900 万円)
- (イ) 貸付利息 無利息
- (ウ) 返済方法 20 か月以内の毎月返納
- (エ) 連帯保証人 1 名要
- (オ) 貸付件数 0 件
- (カ) 貸付額 0 円

#### カ 福岡学生交流会館管理運営

福岡都市圏の大学に在籍する外国人学生の世帯向けに比較的安価で良質な住居を提供するとともに、留学生及びその他の外国人と市民との交流並びにその他の国際交流の促進に資する事業を行う場を提供した。

- (ア) 所在地 博多区店屋町 4 番 1 号(4、5 階)
- (イ) 施設概要 4 階 国際交流フロア(貸会議室等 5 室)  
5 階 世帯用宿舎(2DK 5 戸)
- (ウ) 国際交流フロア 利用件数 2,055 件  
利用者 24,656 名

#### キ 「あったか福岡」外国人学生支援

外国人学生が有意義な生活を送ることができる環境づくりを推進するため、「福岡外国人学生支援の会」と共催で、市民ボランティアの協力参加を得て日本語おしゃべりサロン、外国人学生が語るふるさとの街と福岡、外国人学生歓迎交流事業、あったかスポットギャザリングや情報普及事業を行い外国人学生の生活の安心感の向上を図った。

- (ア) 主 催 福岡外国人学生支援の会  
共 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団
- (イ) 事務局 (公財)福岡よかトピア国際交流財団内
- (ウ) 実施時期 日本語おしゃべりサロン 毎月第 1、第 3 木曜日 (675 名参加)  
外国人学生が語るふるさとの街と福岡 毎月第 3 木曜日 (198 名参加)  
外国人学生歓迎交流事業 平成 27 年 11 月 7 日に実施 (159 名参加)  
あったかスポットギャザリング 平成 28 年 2 月 24 日に実施 (20 名参加)

#### ④ グローバル人材を育成する事業

##### ア 福岡市レインボー留学生奨学金

国際交流活動や地域活動を通じた相互理解の深化に意欲のある優秀な留学生の学習環境を整え、留学生と市民との交流の機会を増やすことにより、地域の国際化と留学生と市民との相互理解に寄与するために奨学金を支給した。

(ア) 支給金額 20,000 円/月

(イ) 支給人員 90 名

(ウ) 支給対象期間 1 年間

なお、福岡市からの奨学金であることを認識し、福岡とのつながりを強く感じてもらうため、当該奨学金受給者に対し、受給証交付式を 7 月 23 日に実施した。

##### イ よかトピア留学生奨学金

前身の(公財)よかトピア記念国際財団からの寄付金をもとに、地場企業での就業体験を通じた海外高度人材の地場企業への定着と地域の国際化・活性化に寄与するため、福岡で就業を希望する留学生に奨学金を支給した。

(ア) 支給金額 60,000 円/月

(イ) 支給人員 6 名

(ウ) 支給対象期間 1 年間 (上記 6 名中 1 名は 11 月までの 8 か月)

##### ウ 留學生育英奨学金

福岡都市圏で学ぶ留学生が安心して勉学に励むことができる環境づくりを生活資金面から支援するために、団体や企業、個人からの寄付金により奨学金を支給した。

(ア) 支給金額 大学院生 年額 50 万円、学部生 年額 30 万円

(イ) 支給人員 7 奨学金、9 名

(ウ) 支給対象期間 寄付者の希望により決定 (1 年単位以上)

##### エ 日本人大学生留学奨学金(スタートアップ奨学金)

日本人大学生の留学を促進するとともに、国際社会で活躍できるグローバル人材として育成し、さらに福岡の国際競争力を強化する人材として福岡へ定着させるため、大学卒業後に福岡で創業・就職を希望する日本人大学生の交換留学へ奨学金を貸与した。

また、当該奨学金受給者の福岡での創業・就職を促進するため、地場企業との交流会、留学前・留学中・帰国後に就職活動支援や研修等を行うフォローアップ事業を実施した。

(ア) 貸与金額 100,000 円/月

(イ) 貸与人数 5 名

(ウ) 貸与対象期間 1 年間 (5 名)

(エ) 交流会 平成 27 年 6 月 19 日 参加企業 7 社

(オ) 認定証交付式 平成 27 年 8 月 6 日

(カ) 留学前研修 平成 27 年 8 月 8~9 日

##### オ 留学生と企業との交流サロン

福岡で就職を希望する留学生と、グローバル人材としての留学生に興味を持つ地場企業を対象に、普段着でざっくばらんな会話を通じ「生の留学生像」「企業が求める留学生像」「日本の企業文化」など、留学生と企業の相互理解を深める場として交流会を開催した。

(ア) 共催 福岡県留学生サポートセンター運営協議会 他

(イ) 実施日 平成 27 年 11 月 30 日、12 月 7 日

(ウ) 参加者 留学生 48 名 企業 37 社・45 名、JICA ボランティア経験者 6 名

## カ 青少年相互派遣

海外の都市と青少年相互派遣を行うことで、青少年の異文化に関する相互理解を図るとともに、国際性豊かなグローバル人材の育成の機会を提供した。

### (ア) 福岡・イポー青少年相互派遣

高校生がホームステイや学校体験等を通じてお互いの生活・文化を体験することにより、相互理解を図るとともに、国際的感覚を身につける機会を提供した。

平成 27 年度はイポー市からの訪問団を受け入れた(隔年相互派遣)

a 実施期間 平成 27 年 12 月 2～10 日(9 日間)

b 人 数 11 名(高校生 8 名、引率者 3 名)

### (イ) 福岡・US オークランド青少年相互派遣

高校生がホームステイや学校体験等を通じてお互いの生活・文化を体験することにより、相互理解を図るとともに、国際的感覚を身につける機会を提供した。

平成 27 年度は US オークランド市からの訪問団を受け入れた(隔年相互派遣)

a 実施時期 平成 27 年 6 月 26 日～7 月 6 日(11 日間)

b 人 数 7 名(高校生 6 名、引率者 1 名)

## キ グローバル コミュニティ FUKUOKA

留学生・大学・企業にグローバル人材の育成・活用・活躍の情報を提供し、産学官一体でグローバル人材の育成・定着を促進するきっかけとなるイベントを開催した。

### (ア) 主 催 「グローバル コミュニティ FUKUOKA」実行委員会

構成団体 福岡市、福岡よかトピア国際交流財団、福岡商工会議所、  
福岡地域留学生交流推進協議会

### (イ) 事 務 局 福岡市総務企画局国際部内

### (ウ) 会 場 ホテルオークラ 平安の間

日 程 平成 27 年 10 月 18 日(日)

### (エ) 内 容 基調講演、パネルディスカッション、ワールドカフェ、ネットワーキング

### (オ) 参 加 者 269 名

留学生・元留学生・アジア太平洋子ども会議の元子ども大使 107 名

地元企業関係者 63 名

大学関係者・行政機関等 30 名

来賓者等 69 名

## (3) 事業報告の附属明細書

記載すべき事項は、ありません。

※ 理事会及び評議員会の開催状況等

会議名	開催日	内 容
理事会	H27. 4. 1	議案審議（決議の省略による） ・ 事務局長の任免に関する件
理事会	H27. 5. 29	報告 ・ 決議の省略に関する件 議案審議 ・ 平成 26 年度事業報告及び決算に関する件 ・ 特定資産の保有に関する件 ・ 平成 27 年度の事業計画の執行に関する件 ・ 定時評議員会の開催に関する件
評議員会	H27. 6. 19	報告 ・ 決議の省略に関する件 ・ 平成 26 年度事業報告及びその附属明細書に関する件 ・ 平成 27 年度事業計画及び収支予算に関する件 議案審議 ・ 平成 26 年度貸借対照表、正味財産増減計算書、これらの附属明細書及び財産目録に関する件 ・ 役員の任期満了に伴う次期役員の選任に関する件 ・ 評議員の任期満了に伴う次期評議員の選任に関する件
理事会	H27. 6. 19	議案審議（決議の省略による） ・ 理事長 1 名選定に関する件 ・ 専務理事 1 名選定に関する件
理事会	H27. 11. 30	議案審議（決議の省略による） ・ 理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦に関する件 ・ 評議員会の開催に関する件
評議員会	H27. 12. 1	議案審議（決議の省略による） ・ 理事の選任に関する件
理事会	H27. 12. 1	議案審議（決議の省略による） ・ 理事長 1 名選定に関する件
理事会	H28. 3. 15	報告 ・ 決議の省略に関する件 議案審議 ・ 事務局とレインボープラザの統合移転に関する件 ・ 平成 28 年度事業計画及び収支予算等に関する件